

## Vitronectin

目次 # RP01002 1mg (2 mL)

### 製品説明

Vitronectin (VTN コーティングタンパク質) は、成分明確、異種成分を含まない細胞基質であり、ヒト胚性幹細胞 (human embryonic stem cell, hESC) およびヒト誘導多能性幹細胞 (human induced pluripotent stem cell, hiPSC) の増殖と分化をサポートします。NcEpic または NcTarget 多能性幹細胞培地 (または mTeSR、E8) と併用可能です。

### 製品情報

表 1 : Vitronectin 製品詳細

製品情報	品番	規格	濃度	保存条件
Vitronectin 短縮型 VTN-NC 純度 ≥ 95% エンドトキシン含量 ≤25EU/mg	RP01002	1mg(2 mL)	500 µg/mL	-80 °C または -20 °C

### 使用説明

- VTN コートタンパク質の推奨コーティング濃度は  $1 \mu\text{g}/\text{cm}^2$  です。6 ウェルプレートを例にすると、各ウェルの面積は  $10 \text{ cm}^2$  であるため、VTN コートタンパク質  $10 \mu\text{g}$  を使用する必要があります。

表2：培養容器別の VTN 使用液 (10 µg/mL) の推奨使用量

容器	ウェル面積	VTN 使用量
6 ウェルプレート	10 cm <sup>2</sup> / ウェル	10 µg
60-mm ディッシュ	20cm <sup>2</sup>	20 µg
100-mm ディッシュ	60cm <sup>2</sup>	60 µg
T-25 フラスコ	25cm <sup>2</sup>	25 µg

2. 表2を参照し、6 ウェルプレート 1枚の総面積は 60 cm<sup>2</sup>であり、コーティングには 60 µg の VTN コートタンパク質 (500 µg/mL 溶液で 120 µL) が必要です。VTN コートタンパク質は 120 µL (60 µg) /管で分注し、-20 °C または -80 °C で保存することができます。使用時には 1 管の VTN コートタンパク質 (120 µL、60 µg) を取り出し、DMEM/F12 培地で希釀して使用液とし、6 ウェルプレート 1枚分のコーティングに使用できます。

培養プレートのコーティング (6 ウェルプレートを例とする。操作手順は他の培養容器にも同様に適用可能)

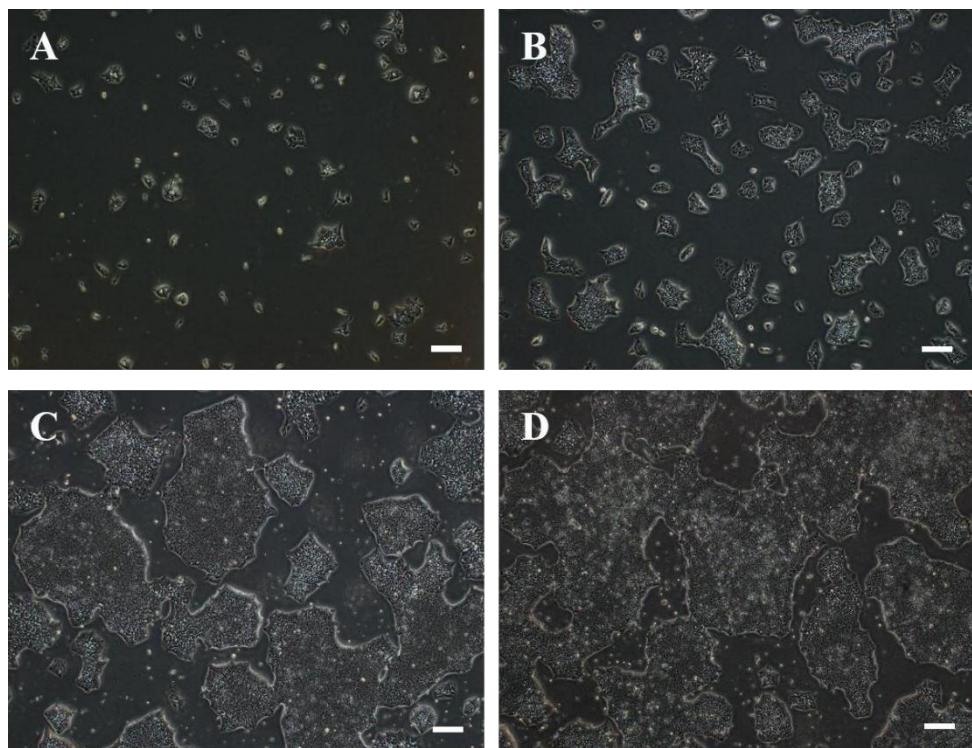
1. VTN コートタンパク質 (120 µL、60 µg) を1本準備し、室温 (15-25 °C) で解凍します。
2. 15 mL遠心管を準備し、DMEM/F12培地9 mLを加えます。解凍したVTN コートタンパク質を DMEM/F12培地に添加し、穏やかに振り混ぜます (ボルテックス振盪は不可)。
3. 希釀したVTN コーティング溶液を直ちに使用し、6 ウェルプレートを1.5mL/ウェルでコーティングします。
4. 培養プレートを軽く振り、希釀したコーティング溶液がプレート底面に均一に広がるように

します。

5. 室温（15-25 °C）で1時間静置した後、使用します。

**Tips**：即時使用しない場合、VTNコーティング溶液の蒸発を防ぐためにプレートを密閉します。コーティングしたプレートは4 °Cで保存し、1週間以内に使用することを推奨します。使用の際には、室温（15-25 °C）で10~30分間温度を戻しておいてから実験の次ステップに進んでください。

6. 使用する際には、プレートを傾け、ピペットまたはチップでコーティング液を完全に除去します。コーティングしたプレート底面に傷がないことを確認し、追加の洗浄液等での洗浄は不要です。



hPSC完全培地（NcEpic）を用いて連続培養したhPSC細胞形態（Vitronectin plate）

A、B、C、Dはそれぞれ培養1日目、2日目、3日目、4日目におけるhPSCの形態を示した。スケールバー：200 μm